



どうなる？暮らしの足

公共交通のあり方

について考える

現在市は、「動く公共施設」の一つとして位置づけられている岳南鉄道へ、公的支援として補助金を交付していますが、今年度から3年間追加支援をし、2年間の検証期間後、今後の支援の方向性を検討していくことになりました。

これからの富士市の新しい公共交通のあり方について、市全体で考えていきましょう。

岳南鉄道の概要

岳南鉄道は、昭和28年に全線開通し、60年近くにわたって市民の足、製品の輸送路として活躍してきました。しかし、自家用車の急激な普及や産業の低迷などにより、旅客人員、貨物量ともに著しく減少しています。

また、ことしの3月をもって

貨物輸送が休止になったことも追い打ちをかけ、岳南鉄道の経営環境は大変厳しい状況に直面しています。

公的支援の経緯

市は、岳南鉄道に対して平成16年度から年間1000万円（平成23年度は2000万円）の公的支援をしてきました。しかし、平成24年度からは、行政が適切

「新しい考え方」による公的支援

基本的な考え方

岳南鉄道は富士市における社会的基盤として、事業者の自助努力と行政の適切な関与によって、**市民・事業者・行政が一体**となって支えていく。

基本原則

- ◇単なる赤字補填ではないこと
- ◇事業者としての効率性・サービスの向上が引き続き確保されること
- ◇富士市にもたらされる**社会的便益**の対価としての適切な関与であって、その算定根拠が明確であること

富士市にもたらされる社会的便益とは？

岳南鉄道の価値を評価するに当たり、事業者の採算性（赤字・黒字）だけで評価するのではなく、岳南鉄道が存在することによる「富士市への貢献」を貨幣換算します。

市が独自に計測したところ、岳南鉄道の社会的便益は、年間 6,500 万円という金額が算出されました。

に
関
与
を
す
る
「**新しい考え方**」
に
よ
り、
年
間
6
5
0
0
万
円
を
公
的
支
援
す
る
こ
と
に
な
り
ま
し
た。
今
回
の
公
的
支
援
の
金
額
は、
左
記
の
「**基本的な考え方**」や「**基本原則**」を
も
と
に
算
出
し
た、
社
会
的
な
便
益
の
金
額
を
目
安
に
し
て
い
ま
す。

経費（鉄道整備の維持にかかる費用など）
2億4,710万7,000円

収益（旅客運送などの収入）
1億5,773万6,000円

損失（赤字）
8,937万1,000円

事業者による
自助努力

2,437万1,000円

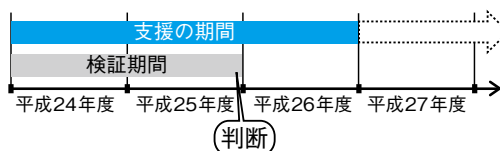
補助金
6,500万円

社会的な便益の金額を補助金（公的支援の目安）とします。

公的支援投入後の経営状況の見込み（平成24年度）

公的支援の期間と検証

支援の期間は、平成24～26年度の3年間です。ただし、平成24～25年度を検証期間とし、検証期間が終了した時点（平成26年3月31日）で、その後（平成27年度以降）の方向性を判断します。



検証内容

岳南鉄道が存続することによってもたらされる便益が、存続に必要な経費を上回っている、収支改善の見通しが見込めるか。

市民、事業者、行政が連携し、地域が一体となった取り組みが一過性のものではなく、継続して実施されているか。

検証後の対応

支援継続

支援内容をさらに精査し、適正な支援を行います。

支援廃止

支援が適切ではないと判断した場合、平成27年3月31日で支援を廃止します。

岳南鉄道を利用して
お気に入りの景色を
探しに行きませんか？

レトロな街並みにとけこむ
岳南鉄道



★最寄駅：吉原本町駅
★駅からの徒歩時間：1分

ドラマのロケ地



★最寄駅：岳南原田駅
★駅からの徒歩時間：1分

かぐや姫発祥の地を訪れる



★最寄駅：比奈駅
★駅からの徒歩時間：20分



問い合わせ 都市計画課
☎ 55-2904 ☎ 51-0475
✉ toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp

岳南鉄道の便利でお得な活用方法
を市ウェブサイトで紹介しています。
ぜひごらんください。



「SAVE! 岳鉄レンジャー」の隊員
たちは、市内各種イベントなどで、
岳南鉄道の広報を行うほか、利用
促進を目指すワークショップにも
参加をしています。

現在、町内会連合会からの存続要請や、「富士市民岳鉄イカシ隊（市民有志）」、「SAVE! 岳鉄レンジャー（小学生・大学生）」による存続運動など、「市民の動き」が活発化しています。

岳南鉄道の存続のためには、何よりも市民一人一人が「利用すること」が一番の支えになります。

岳南鉄道は、事業者としても最大限の効率化とサービスの向上を常に目指す必要があります。

これまでに、運行本数の増加（平日66本→74本）などにより、利便性の向上に努め、高い効率性・安全性の実現に努めています。

また、さらなる利用者の増加と顧客満足度の向上を目指して、今後もより一層の自助努力が求められています。



平日は、午後7時以降の上下線の増便や、最終電車の時間帯の繰り下げなど、利便性の向上を図っています。

具体的な取り組み

■「岳南鉄道の利用促進を考えるワークショップ」を開催し、まち全体で岳南鉄道を考え、市民と共に活動しています。

■岳南鉄道を利用したくなるような周辺環境の整備を行い、積極的な利用を促進するような広報活動に取り組んでいます。

■車に依存した日常生活を振り返り、賢い車の使い方を考えてもらうため、さまざまな公共交通利用促進策を実施しています。

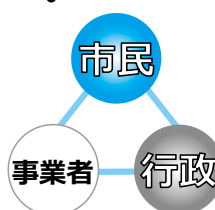
市は、公的支援のほか、岳南鉄道の利用を促進し、利用者をふやすような取り組みを実施しています。

市民の役割

岳南鉄道の役割

市の役割

暮らしの足は、
市民・事業者・行政が一体となって…



写真上：岳南鉄道の沿線の魅力を発信する冊子

写真下：市民と市職員で、岳南鉄道の魅力と改善すべき点について意見交換をする「ワークショップ」